



2023年パークレンジャー養成講座 第4回

野外活動の安全管理

@金剛山 ちはや園地

2023/5/28

NPO法人日本パークレンジャー協会

1. 自然の危険

自然現象:

気象:大雨、雷、強風、大雪、台風

災害:倒木・落枝、土砂崩れ・落石、雪崩、洪水、地震、火事

危ない生き物: 人に害を与えようとして生きているわけではない

動物:イノシシ、ヘビ(マムシ/ヤマカガシ) …クマ

昆虫:スズメバチ、アブ・ブユ、マダニ、ヒル

植物:ツタウルシ、ウルシ、ハゼ、ヌルデ、イラクサ…

毒を持つ生き物

: **ドクガ**、**マダニ**、ハチ、毒ヘビ、ムカデ

: 毒キノコ(**カエンタケ**)、トリカブト、シキミ、

アジサイ、フクジュソウ、スイセン、ヒガンバナ、ツツジ

自然の世界は危険に満ちている

2. 人が行動すると色々なことが起きる

山: 転倒、滑落、転落、接触、路迷い……

川: 溺れる、流される、増水による孤立…

海: 溺れる、流される、高波にさらわれる…

食: 毒キノコ、毒草、食あたり…

道具: 刃物による傷…

野外料理: 火傷、切り傷、食あたり……

遊具: 接触、放り出される、挟まれる…

山作業: 転倒、刃物傷、切株で傷、落枝、チェーンソー…

その他: 遊び道具が相手に当たる、目に異物、ソゲ刺さり…

ものごとは必ず秩序がない方向に動く - エントロピー増大の法則

3. ボランティアの野外活動主催者に責任はあるか

事前に危険の予知と対策を考える責任がある

例1: 「子ども会のハイキングで川遊びで子供が水死した」

下見して本番で遊ぶ範囲(深さ10-20cm)を決めて遊ばせたが、
範囲外に出て遊んだ子が溺れて死亡した

損害賠償責任 (引率の役員に対し526万円)

事前に危険予知と対策、監督する責任

例2: 「至近距離で竹トンボを飛ばし友だちの子が負傷した」

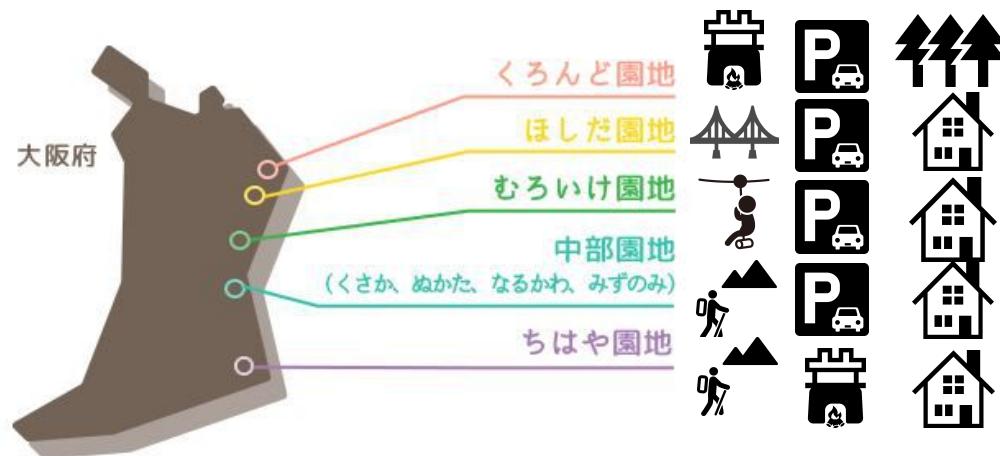
少年団の子Aが竹とんぼを至近距離で飛ばして隣の子Bに
当たり目を負傷させた。団長は事前に人の近くで飛ばしては
いけないと注意していた

損害賠償責任 (子Aの両親と少年団団長)

責任者の危険予知と対策、監督する責任

ボランティアであっても適切な対応をしなければ責任が問われます

紹介：大阪府民の森 各園地の特徴と催しの例





登山・ハイキング
(自然解説) 

- ・星田60名山とほしだ園地を歩こう(ほしだ)
- ・むろいけ園地からほしだ園地まで歩こう会(むろいけ)
- ・あじさいハイキング、ナイトハイク(中部：生駒)
- ・雪山 初登り・豚汁(ちはや：金剛山)

森遊び  

- ・交野わんぱく村：丸太切り/皮むき など (交野市)
- ・ナイトハイク&スターウォッチング、山ヨガ(ちはや：金剛山)

クラフト  

- ・自然の中でおもちゃ作り、むろいけの苔の森へようこそ 他(むろいけ)
- ・ほしだ七夕まつり(ほしだ)
- ・ウッドバーニング(ちはや)
- ・クリスマスリース(ほしだ・中部：生駒)
- ・門松作り(中部：生駒)

野外料理 

- ・野外料理を楽しもう・ダッチオープン(くろんど)
- ・金剛山の春まつり 森のピザ屋さん(ちはや：金剛山)

4. 野外の催しの主催者が実施すべき安全管理

ボランティアは危険の予知・対策と監督する責任がある
万一の備えとその対応に習熟しておく必要がある

①危険の予知と対策：別紙 安全管理マニュアル

下見で危険の予知確認とその対策法を考える

⇒催し実践研修

報告書(ヒヤリ、ハット)

⇒別紙①

②参加者に予測される危険と注意を告知(自分の身は自分で守る)⇒別紙②

③救急用具：救急用品を揃え携行(包帯、絆創膏…)

⇒救急キット

④救急法の習得：心肺蘇生法、AEDの使い方、応急処置

⇒救急法研修

⑤保険を掛ける

⇒別紙③

安全管理マニュアルに詳述

具体事例

① 報告書の例 : "初登り&豚汁" 2023.1.8@金剛山

【下見報告:登山班】

- ・危険箇所なし:神社裏通らず、神社の上りは階段、携帯エリア確認
- ・本番は、解説を行い2時間程度で登山し、園地到着 13:30めど
- ・ご高齢(82才、単独)の申込者には、ペース、下山単独、寒さ/雪などをご理解頂いた上で、参加を受け付ける。
- ・ロープウェイ利用を想定して園地解散としていたが、来年から、下山時に希望者を伏見林道で下山支援する。

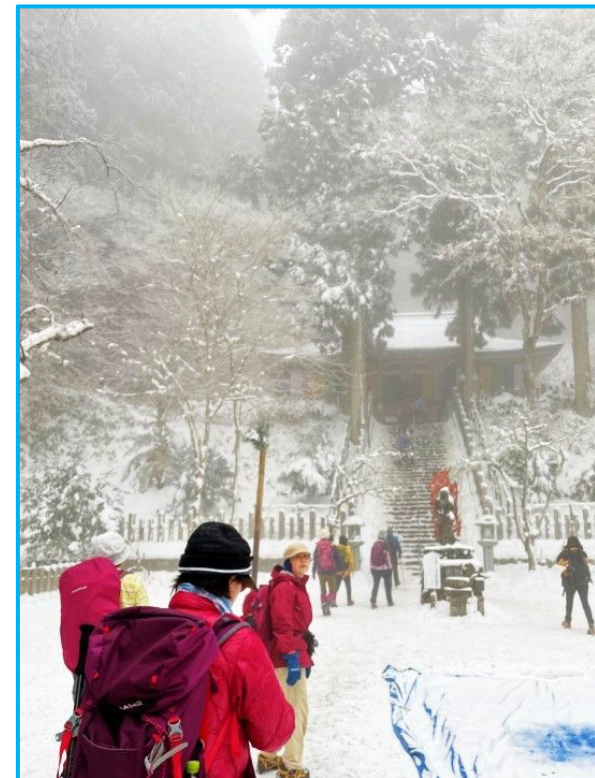
【本番:参加者アンケート評価】 全13名

- ・全体評価: 非常に良い12、来年も参加したいとの記載が複数あり
- ・良かった所: 豚汁13 樹氷12 野鳥10 ブナ林4 ハイキング3
- ・特記:初めての雪山に挑戦、遅れ気味で迷惑かけたが、楽しかった

【本番報告:登山班】

- ・事故無く誘導できた。
- ・グループ毎の人数と引率者数の関係(6-7名/グループ)で細かい対応困難も、受付時に不安のある方を要確認。
- ・小さいお子さんのアイゼンが外れ気味にて、予備用持参した4爪軽アイゼンを装着して、安全に登山。
- ・下見時の懸念の通り、下山時の同伴希望者があり無事対処

→申込時に懸念を記載する項目を設けてもよいか。



“みんな”で 安全の“管理”に努める

一つのことに注意していると、別の危険が迫ってたりする。

- ・スタッフの解説に参加者が聞き入る間、後ろの木にスズメバチの群れ
- ・スタッフが桐の実を解説しようとして中をあけると...
- ・参加者がササユリをスマホで撮影しようとして草むらに入ると...

主目的を終えての帰り道では、参加者の気が緩みがち

- ・子供がふざけて後ろ向き歩き、崖の方向に近づいた
- ・グループ間の間隔が空いて、参加者のねんざに気づくのが遅れた



本番では、スタッフ“みんな”で危険に目配り

- ・下見でも、スタッフ“みんな”で危険予知
- ・過去の報告は“みんな”の気づきの集大成

具体事例

② 参加者への告知の例

領収証

_____様


金 円 催し名「 _____ 」

年 月 日

安全に楽しく自然を体験していただくために

- ① 野外の活動では基本的に自分の身は自分で守って下さい
- ② 保護者の方はお子様を見守り安全には十分に注意して下さい
- ③ 主催者の注意事項をよく守りスタッフの指示に従って行動して下さい
- ④ 催し中に体調不良で行動できないと思ったらすぐスタッフに連絡して下さい

NPO 法人日本パークレンジャー協会
〒540-0012
大阪市中央区谷町2丁目2-20
大手前類第1ビル2F Canvas 谷町 F09



③ 保険

保険の種類	クレンジャーの ボランティア保険	参加者障害保険 (イベント保険)	森林ボランティア 保険
取扱会社	社会福祉協議会 (三井住友海上)	ジェイアンドエス 保険サービス	森林ボランティア 協会(甲南保険)
賠償責任	5億円	-	1億円
死亡・後遺症	1800万円	300万円	1000万円
手術	入院日額x5~10倍	入院日額x5~10倍	-
入院(1日当)	9500円	3000円	5000円
通院(1日当)	4000円	1500円	3000円
掛金	500円/人(B7°ラ)	21円/人	Aタイプ

チェーンソー等利用時

活動の対象者など
他人の身体や財物に損害を与え
法律上の賠償責任を負った場合

ボランティア自身や
参加者が
ケガをした場合

おわりに：催しの安全管理の五箇条

- ① 事故は起こるものと考えておく
- ② 参加者に自己責任(自分の身は自分で守る)の意識を持たせる
- ③ 主催者には安全管理の義務と責任がある(危険の予知とその対策)
- ④ 安全管理研修と救急法習得は必修事項
- ⑤ 保険に加入する

この五箇条は野外活動の安全管理を考える基本です